

(この表の見方)

- ・本表はモニタリング事業者・機関を主なユーザーとして想定し、個々の観測の他分野における重要性を確認していただくことを目指した。
- ・この表の左の列には気象観測項目および農林水産、水資源・水環境、自然生態系、自然災害・沿岸域、健康、産業・経済・国民生活の各分野における観測項目のうち他分野に関連が深いと思われるものを挙げ、各行には各観測データの他分野における重要性を、3段階（H：きわめて重要な項目、M：中程度に重要な項目、L：重要性が低い項目）で記した。
- ・本表の作成にあたり、報告書を基に該当すると思われる観測項目を3から5つ程度選定し、それぞれについて他の分野の委員が自己の専門分野における当該観測データの重要性を評価した。
- ・各項目について複数の他分野の委員が重要性を評価し、評価が分かれた場合は最も高い評価を採用した。（例えばH,M,Lに評価が分かれた場合、Hをつける。）
- ・本表は他分野における評価を表しているため、報告書に記載されている各分野での重要性とは必ずしも一致しない。

気候変動の影響観測・監視の推進に向けた検討チーム報告書 「戦略的な気候変動の影響観測・監視のための方向性 第2版」（令和3年3月）

付表：各分野における観測の他分野との関連性

分野	観測項目	モニタリング事業例・モニタリング機関	農林水産	水環境・水資源	自然生態系	自然災害・沿岸域	健康	産業・経済・国民
基本気象要素環境	気温	気象庁	H	H	H	H	H	H
	湿度	気象庁	H	H	H	H	H	H
	降水量	気象庁	H	H	H	H	H	H
	日射(放射収支)	気象庁	H	M	H	M	H	H
	風向風速	気象庁	H	M	H	H	H	H
基本気象要素以外の環境	積雪	気象庁	H	H	H	H	H	H
	海水温	気象庁	H	L	H	H	H	H
	海平面高度	気象庁	H	H	H	H	L	M
	植物プランクトン	大学・研究所	H	H	H	L	L	L
	大気中CO2(GHGs)	気象庁・研究所	H	L	H	L	L	L
農林水産	フェノロジー		-	L	H	L	H	H
	作物・果樹分布		-	L	M	L	M	H
	花粉飛散量		-	L	H	L	H	M
	水産資源量		-	L	H	L	L	H
	藻場・海藻群落		-	L	H	M	L	M
水資源・水環境	ダム貯水池水質	管理者	H	-	H	L	H	H
	水源地水質	自治体	L	-	H	L	H	H
	雨天時合流式下水道越流量	研究者	M	-	H	H	H	H
	河川流量	河川管理者／研究者	H	-	H	H	L	H
	河川・湖沼の水質水温	河川管理者／研究者	H	-	H	M	H	L
自然生態系	自然環境保全基礎調査	環境省	H	L	-	L	M	H
	環境省レッドリスト	環境省	H	L	-	L	L	H
	環境省モニタリングサイト1000	環境省	H	L	-	L	L	M
	サンゴ礁モニタリング	研究者	M	L	-	L	L	H
	外来生物の分布	自治体／研究者	H	M	-	L	H	H
自然災害・沿岸域	河川流量	河川管理者	H	H	H	-	L	H
	水害区域図(水害統計調査)	自治体	H	H	H	-	H	H
	斜面崩壊箇所	自治体／研究者	H	H	H	-	H	H
	潮位・波浪	自治体／港湾管理者	H	H	H	-	L	H
	海岸地形	国土地理院	H	L	H	-	L	H
健康	熱中症救急搬送者数	熱中症による救急搬送人員に関するデータ	H	L	L	L	-	H
	病原体/媒介生物の地理的分布		M	M	H	H	-	M
	感染症患者数	感染症サーベイランス	M	M	H	H	-	H
	大気汚染物質濃度	大気環境モニタリング	M	L	L	L	-	M
	死亡データ	人口動態統計	H	M	L	H	-	H
産業・経済活動および国民生活・都市生活	エネルギー需要量	電力会社	M	M	L	M	M	-
	設備容量(太陽光等)		L	M	L	M	L	-
	観光客数	観光庁	H	L	H	M	H	-